

製品名: ILK マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81180**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ELISA,FC
反応性	人間、ネズミ、サル
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.03%アジ化ナトリウムを含む PBS。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	51.4kDa

抗原情報

遺伝子名	ILK
別名	P59; ILK-2
遺伝子 ID	3611.0
SwissProt ID	Q13418
免疫原	大腸菌で発現したヒト ILK (AA: 97-244) の精製された組み換え断片。

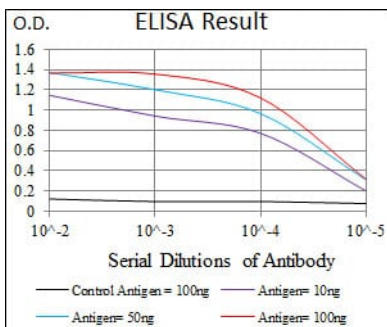
背景

インテグリンを介した細胞外マトリックスシグナル伝達は、細胞内および細胞外の機能に影響を与え、インテグリンの細胞質ドメインと細胞タンパク質との相互作用を必要とすると考えられています。インテグリン結合キナーゼ (ILK) は、 β 1 インテグリンの細胞質

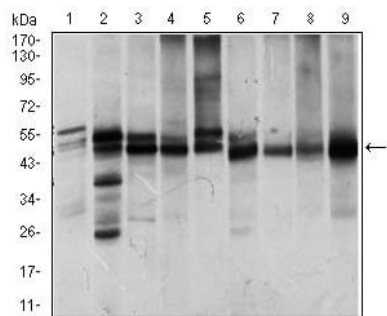
ドメインと相互作用します。この遺伝子は、4つのアンキリン様リピートを持つセリン/スレオニンタンパク質キナーゼをコードしており、βインテグリンの細胞質ドメインと結合し、インテグリンを介したシグナル伝達を制御する近位受容体キナーゼとして機能します。この遺伝子には、同じタンパク質をコードする複数の選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが見つっています。

研究分野

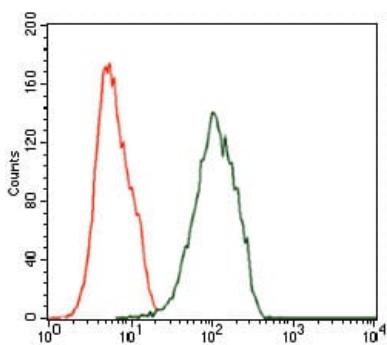
画像データ



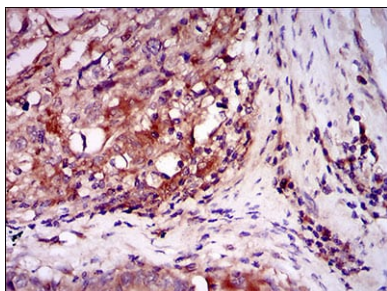
黒線: コントロール抗原 (100 ng); 紫線: 抗原 (10 ng); 青線: 抗原 (50 ng); 赤線: 抗原 (100 ng);



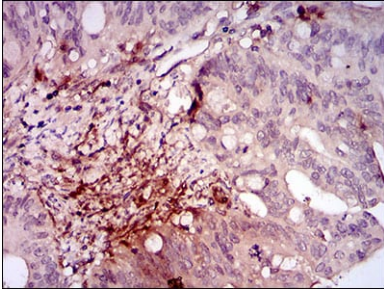
Jurkat (1)、NIH3T3 (2)、HeLa (3)、PC-12 (4)、C6 (5)、COS7 (6)、Raji (7)、K562 (8)、MCF-7 (9)細胞溶解物に対する ILK マウス mAb を用いたウエスタンブロット解析。



ILK マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した Jurkat 細胞のフローサイトメトリー分析。



ILK マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト食道癌組織の免疫組織化学分析。



ILK マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト直腸癌組織の免疫組織化学分析。